

令和5年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第3四半期の連結業績（令和4年10月1日～令和5年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第3四半期	15,790	16.8	461	159.5	449	158.5	347	252.6
4年9月期第3四半期	13,514	—	177	—	173	—	98	—

(注) 包括利益 5年9月期第3四半期 522百万円 (176.9%) 4年9月期第3四半期 188百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第3四半期	26.67	—
4年9月期第3四半期	7.57	7.54

(注) 1. 令和5年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。
 2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年9月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第3四半期	14,709	3,179	8.7
4年9月期	13,615	2,867	8.8

(参考) 自己資本 5年9月期第3四半期 1,280百万円 4年9月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
5年9月期	—	0.00	—		
5年9月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年9月期の連結業績予想（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	83.0	700	83.0	700	85.4	400	115.1	30.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年9月期3Q	13,471,240株	4年9月期	13,471,240株
② 期末自己株式数	5年9月期3Q	461,271株	4年9月期	461,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年9月期3Q	13,010,063株	4年9月期3Q	13,006,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限が緩和され経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。サービス関連を中心とした個人消費の増加や水際対策の緩和によるインバウンド需要が増加しております。一方で、世界経済におけるロシア・ウクライナ情勢が長期化しており、エネルギー資源や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動などから先行き不透明な状況が続いております。GDP伸び率は、令和5年1月～3月に前年同月比0.7%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比3.1%～4.2%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、「ネクシィーズ・ゼロ事業」「電子メディア事業」の2事業の拡大に注力しております。当第3四半期連結累計期間においては、引き続き当社の主要顧客である飲食業や宿泊業を始めとした店舗施設で設備投資や広告需要が増加傾向にありました。

これらの結果、売上高15,790百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益461百万円（前年同四半期比159.5%増）、経常利益449百万円（前年同四半期比158.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は347百万円（前年同四半期比252.6%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、比較・分析は変更後のセグメント区分に基づき記載しております。

[ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ（以下、「ネクシィーズ・ゼロ」）」の提供、省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による制限緩和への動きと省エネルギー設備への需要の高まりから、主力の業務用LED照明や空調、冷蔵庫を中心に各種商材の受注が好調に推移しております。金融機関や各種団体との連携を継続的に強化していることに伴い、紹介による受注が増加しております。また、4月より新入社員が加わり営業体制の強化に取り組んでおります。

これらの結果、ネクシィーズ・ゼロ事業は、売上高12,348百万円（前年同四半期比33.7%増）、セグメント利益677百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、観光や外食需要の回復を背景に、引き続き電子雑誌業務における広告掲載売上が増加しております。また、令和4年10月より開始したタレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」においては、全国の中小企業を中心に契約企業数が増加し、好調に推移しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高3,432百万円（前年同四半期比43.4%増）、セグメント利益461百万円（前年同四半期比161.6%増）となりました。

[その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシィーズ電力」の提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度より開始した他社への顧客移管を終え、戦略的に事業を縮小させております。

これらの結果、その他事業は、売上高26百万円（前年同四半期比98.6%減）、セグメント損失20百万円（前年同四半期はセグメント損失64百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,709百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,093百万円の増加となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は10,677百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,102百万円の増加となりました。これは主に、リース債権が1,200百万円、未収入金が301百万円減少した一方で、現金及び預金が2,489百万円、受取手形及び売掛金が463百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は4,032百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産が25百万円、投資有価証券が17百万円増加した一方で、敷金及び保証金が76百万円、建物が24百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は9,221百万円となり、前連結会計年度末に比べて447百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が500百万円、1年内返済予定の長期借入金が145百万円減少した一方で、解約調整引当金が416百万円、未払消費税が371百万円、賞与引当金が162百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は2,308百万円となり、前連結会計年度末に比べて334百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が305百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,179百万円となり、前連結会計年度末に比べて311百万円の増加となりました。これは主に、非支配株主持分が225百万円、利益剰余金が86百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和4年11月14日公表の「令和4年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業においては、新型コロナウイルス感染症の経済環境に対する影響が徐々に改善傾向にあり、LED照明、業務用冷蔵庫、空調等の設備投資への需要が徐々に増加していくものと予想されます。また、農業設備の取扱いについては、農業作物の収穫期と設置、施工時期の間で調整が必要となるため、契約締結から設置完了までにタイムラグがあります。そのため、一部は当連結会計年度に契約に至った案件でも、次期に設置完了して、売上に計上される見込みです。

また、地域金融機関からの案件紹介の増加や人員の拡充による販売網の強化を見込んでおります。その他、今後も市場ニーズに応じた新たな商材の導入や市場の開拓を進めてまいります。

[電子メディア事業]

電子雑誌業務につきましては、自治体からの広告売上の拡大に加え、観光や外食需要の回復による宿泊施設や飲食店等からの広告売上の拡大を目指してまいります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」の業務受託売上拡大を目指してまいります。

また、令和4年10月4日付で、連結子会社である株式会社ブランジスタエールを新たに設立いたしました。月々定額で著名タレントの写真・動画が使えるプロモーションツールと、経営者の学びと交流の場を提供する新プロジェクト「アクセルジャパン」の提供を開始しており、対象となる市場の拡大により更なる売上規模拡大を図ってまいります。

[その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシィーズ電力」の提供を行っております。令和4年5月に株式会社エコログとの間で業務提携契約を締結し、電力供給業務を移管して当社は取次のみを行う事業モデルへ転換いたしました。

これにより、電力仕入価格の高騰の影響を殆ど受けなくなり、当社グループの連結業績に与える影響は限定的であると見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、売上高が電力小売の事業モデル転換に伴い減少する一方で、ネクシィーズ・ゼロ事業、電子メディア事業が伸長することで事業ポートフォリオの最適化が進み、当社グループ全体の収益性が高まると見込んでおります。

また、本見通しの数値を踏まえて中期経営計画を見直し、令和4年12月15日に公表しております。

令和5年9月期 通期連結業績見直し（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

売上高	19,000百万円
営業利益	700百万円
経常利益	700百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	400百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831	5,321
受取手形及び売掛金	2,055	2,518
リース債権	3,508	2,307
商品	659	716
未収入金	679	378
その他	852	696
貸倒引当金	△1,011	△1,261
流動資産合計	9,574	10,677
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,004	980
工具、器具及び備品（純額）	94	108
その他（純額）	7	3
有形固定資産合計	1,106	1,092
無形固定資産		
ソフトウェア	68	78
その他	0	16
無形固定資産合計	68	94
投資その他の資産		
投資有価証券	937	954
敷金及び保証金	703	626
繰延税金資産	688	714
その他	1,293	1,555
貸倒引当金	△755	△1,005
投資その他の資産合計	2,866	2,845
固定資産合計	4,041	4,032
資産合計	13,615	14,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,839	1,745
短期借入金	2,200	1,700
1年内返済予定の長期借入金	2,040	1,894
未払金	609	687
未払法人税等	51	112
解約調整引当金	1,048	1,464
賞与引当金	—	162
その他	984	1,454
流動負債合計	8,774	9,221
固定負債		
長期借入金	1,673	1,979
その他	300	329
固定負債合計	1,974	2,308
負債合計	10,748	11,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,210	100
資本剰余金	20	1,130
利益剰余金	667	754
自己株式	△898	△898
株主資本合計	999	1,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	192
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	195	194
非支配株主持分	1,672	1,898
純資産合計	2,867	3,179
負債純資産合計	13,615	14,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	13,514	15,790
売上原価	7,159	7,360
売上総利益	6,354	8,429
販売費及び一般管理費	6,176	7,967
営業利益	177	461
営業外収益		
受取給付金	6	2
受取事務手数料	10	—
営業支援金収入	—	2
その他	14	17
営業外収益合計	32	21
営業外費用		
支払利息	22	22
貸倒引当金繰入額	—	8
支払手数料	7	0
その他	6	3
営業外費用合計	36	34
経常利益	173	449
特別利益		
投資有価証券売却益	99	257
新株予約権戻入益	4	—
特別利益合計	104	257
特別損失		
投資有価証券評価損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	277	706
法人税、住民税及び事業税	39	268
法人税等還付税額	—	△127
法人税等調整額	54	43
法人税等合計	93	184
四半期純利益	184	522
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	175
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	184	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
為替換算調整勘定	2	0
その他の包括利益合計	4	△0
四半期包括利益	188	522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	346
非支配株主に係る四半期包括利益	86	175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和4年12月14日開催の第33期定時株主総会の決議に基づき、令和5年2月7日付けで資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。この結果、資本金は1,110百万円減少し、資本剰余金は1,110百万円増加しております。なお、株主資本合計金額の著しい変動はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 令和3年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ 事業	電子 メディア 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,174	2,393	11,567	1,946	13,514	—	13,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	64	—	64	—	64	△64	—
計	9,238	2,393	11,631	1,946	13,578	△64	13,514
セグメント利益又は損失(△)	674	176	851	△64	786	△609	177

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△609百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ 事業	電子 メディア 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,337	3,425	15,763	26	15,790	—	15,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	6	17	—	17	△17	—
計	12,348	3,432	15,780	26	15,807	△17	15,790
セグメント利益又は損失(△)	677	461	1,138	△20	1,117	△656	461

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△656百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、収益構造の変化に対応するため、当社グループの事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ネクシィーズ・ゼロ事業」「電力小売事業」「電子メディア事業」から、「ネクシィーズ・ゼロ事業」「電子メディア事業」「その他」に変更しております。

このため、前第3四半期連結累計期間のセグメント損益につきましても、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。